

くすのき

発行：八幡市教育委員会 令和6年(2024年)11月20日
URL <https://www.city.yawata.kyoto.jp/>

第83号

おもな記事

- ◆八幡浜市の中学生との交流 1・2面
- ◆八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰 3面
- ◆寄贈 3面
- ◆教育に関する相談及び不登校に係る支援 3面
- ◆南ヶ丘教育集会所「夏期特別講座」 4面
- ◆公立幼稚園2歳児プレ保育の取組 5・6面

八幡浜市の中学生と交流しました！

令和6年8月19日(月)から21日(水)の日程で、愛媛県八幡浜市の中学生18人が本市を訪問し、本市中学生20人と交流しました。

八幡浜市は二宮忠八翁の生誕の地であり、八幡市は晩年を過ごした地であるということ、また地名が「八幡」という漢字だけではなく、「やわた」の読みも一致していて、両市には非常に深い縁があるということから、平成25年度から両市の中学生交流事業が始まり、今年で12年目となりました。

この交流は、次世代を担う子どもたちが、異なる地域の歴史、文化、都市環境及び自然環境等を学ぶことで、あらためて自分たちの地域を見つめ直し、郷土に対する誇りと魅力を再認識するとともに、豊かな人間性や社会性を育むことを目的としています。

交流 1日目は、

本市市役所エントランスで八幡浜市一行を出迎えしました。交流事業始めて以来、初めての新庁舎訪問となりました。庁舎内で歓迎式典を行った後、両市の中学生自らがプレゼンテーションを行い、お互いの市の魅力を紹介しました。その後、班対抗の竹つぎりレーを行い、中学生同士の仲が一段と深まりました。次に男山第二中学校校区学校支援地域本部の皆さんによるお茶席を体験しました。中学生は3つの役割(お茶を点てる、客人にふるまう、お茶を飲む)を班ごとに体験しました。生徒達からはただお茶を飲むだけではなく、おもてなしの心や、茶道具の美、伝統的な作法などたくさんの要素を学ぶことができた感動の声がありました。



班対抗竹つぎりレー



お茶席体験

2日目は、

朝からさくらであい館の展望台に上がり、三川合流地点やこれから参拝する石清水八幡宮など展望台からの眺望を堪能しました。また2日目は1日を通して、班対抗クイズラリーを行いました。第1問目として、さくらであい館展望台にて各班テーマを考え、自らを被写体とし、メッセージ性の高さを競う写真コンテストを行い、生徒達は中学生ならではの発想でテーマを表現していました。その後、交流事業のきっかけとなった二宮忠八翁が創建した飛行神社を訪れ、宮司から二宮忠八翁の偉大さを丁寧に説明いただき、資料館を見学した後、神應寺を訪れ、二宮忠八翁のお墓に手を合わせました。忠八翁の死から88年経った今でも、遠く離れた人と人をつなぐきっかけを与えてくれる忠八翁に改めて感謝しました。

次に、ケーブルカーに乗り、国宝石清水八幡宮を見学し、本市の歴史について学びを深めました。昼食は、男山中学校で本市給食調理員による松花堂弁当をいただきました。本市では小学校6年生に卒業祝いとして松花堂弁当を提供していることを説明すると、八幡浜市でも実施したいなど興味を持っていただけました。昼食後は、NPO法人八幡たけくらぶの皆さんの指導のもと竹あかり作りを行いました。各自考えてきたデザインをもとに竹に電動ドリルで穴を開ける作業に奮闘しました。竹あかりのライトアップは、四季彩館のテラスで行い、竹からもれるあかりがとても幻想的な中、バーベキューを夕食としていただき、その風情ある光景を楽しみながら、交流事業での思い出などを振り返りました。夕食会では、班対抗クイズラリーの結果発表も行い、その結果に一喜一憂するなど生徒達はこの2日間で一番の盛り上がりとなり、まだ会って2日とは思えないほど楽しそうな姿がみられました。



竹あかり作り



竹あかりライトアップ

3日目は、

市役所エントランスで歓送式典を行った後、最後の交流事業として四国にはまだないコストコホールセールジャパン株式会社京都八幡倉庫店を訪問しました。同社の説明を受けた後、店舗内見学を行い、本市中学生が八幡浜市中学生に一押し商品を紹介するなど最後まで交流を深めていました。見学終了後は、両市感謝の気持ちを伝え合い、最後まで別れを惜しみながら八幡浜市一行を見送りました。

来年度は本市の中学生が八幡浜市を訪問する予定です。八幡浜市の仲間にもたええること、また異なる地域の歴史、文化、都市環境及び自然環境等を学ぶことを楽しみにしつつ、これからも両市の友好関係を深めていきます。



八幡市役所新庁舎前での集合写真

八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰

令和6年11月3日（日・祝）八幡市文化センターにおいて、八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式が行われ、小学生・中学生が対象となるジュニア賞では、15人1団体の児童生徒が受賞されました。

受賞者は次のとおりです。（敬称略・順不同）

【文化賞・個人】

▷堤下 風薫（男山中・書道）

【スポーツ賞・個人】

- ▷谷 柚嬉（男山東中・空手） ▷藤原 愛良（久御山中・剣道） ▷福田 怜斗（男山中・ゴルフ）
▷内藤 翔太（中央小・柔道） ▷行田 光希（くすのき小・柔道） ▷行田 奈由（男山第二中・柔道）
▷日垣 里麻（男山東中・柔道） ▷福本 未玖（男山中・水泳） ▷松本 晴大（男山中・水泳）
▷平井 颯真（男山東中・野球） ▷永安 逞（男山東中・陸上） ▷松井 暖々（男山第三中・陸上）
▷山本 瑛心（南山小・レスリング） ▷鶴野 咲幸（男山第二中・レスリング）

【スポーツ賞・団体】

▷京都和心剣友会（剣道）



（生涯学習課）

寄贈

- 鳥越 拓 様から市内全小学校にサッカーボール（16個）
- 株式会社 Living Color 様、岡田電工 様、里山装飾 様、にしうら司法書士事務所 様、光井建装株式会社 様、八幡SPORTS 様、A-frame 株式会社 様、A.K.T.Y建創 様 トータルスペース・エヌズ 様から市内全小学校に入学した新一年生児童へ防犯ブザー（482個）
- 八幡市老人クラブ連合会 様から市内幼稚園・認定こども園・保育園に書籍（各8冊）
- 竹本 篤史 様から橋本小学校に児童書（100冊）
- 石川 純 様から八幡こどもセンターにおすわりどうぶつシャボン（24個入り1袋）、ミニオンズキャンディー消しゴム59個

（こども未来課）

教育に関する相談及び
不登校に係る支援

教育に関する相談

市内在住の幼児・小・中学生とその保護者の相談に、教育相談担当指導主事及びカウンセラーが応じます。

不登校支援

教育支援教室「さつき」

個の興味・関心に応じた活動や個の状況に応じた学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。

市内在住で不登校の小・中学生が対象です。

【問い合わせ】

八幡市教育支援センター

所在地：八幡市男山笹谷2

電話：075-982-3001

時間：平日 9時～17時

※学校または教育支援センターに電話でお申し込みください。
※学校連絡アプリ「teturu」にて配信いたしましたパンフレットもご参照ください。

令和6年度 南ヶ丘教育集会所「夏期特別講座」

市内8小学校において、小学3・4年生を対象に、紙飛行機教室や、勾玉づくり教室を実施し、115人の参加がありました。どの教室も、真剣かつ楽しく取り組む姿が見られ、夏休みの思い出のひとつになったことと思います。

「かんばやし紙飛行機教室」(八幡小学校、橋本小学校、有都小学校、美濃山小学校)

かんばやし紙ヒコーキ倶楽部の講師を招き、折り方を教えてもらいながら、自分で紙飛行機を折り、思い思いに飛ばしました。また、皆で一斉に紙飛行機を飛ばし、飛距離や滞空時間を比べました。遠くに飛ぶのが得意な機体や、ふわふわと長い時間飛ぶのが得意な機体など、形によって飛び方に特徴があることを体験し、楽しみながら学びました。

同じ形に折った紙飛行機でも、翼のわずかな曲げ方の違いで、高く浮き上がったり、まっすぐに早く飛んだりすることを観察し、経験のなかで理解していく様子が多く見受けられました。

最後には、参加者全員が、講師からミニチュア紙飛行機の模型をもらいました。色とりどりの紙を使い、さまざまな翼の形に折られており、気に入った機体を見つけては、互いの機体を交換し合うなど、学年や学級を越えた参加者同士の交流を深めることができました。



「勾玉づくり教室」(さくら小学校、中央小学校、南山小学校)

山城郷土資料館の講師を招き、石を削り出して勾玉を作る体験をしました。縄文時代や、弥生時代など、時代によって、勾玉の形に特徴があることを学びました。それぞれ自由な形を石に書き取り、紙ヤスリで細かい造形を行い、綺麗に磨き上げた勾玉に着色をしました。

どうすれば、勾玉のくぼんだ部分を綺麗にヤスリがけができるのかと試行錯誤を繰り返し、紙ヤスリを鉛筆に巻き付けたり、小さく折り畳んだり、石を包むように磨いたり工夫していました。

そして、互いに自分なりの方法を教え合うなど、助け合いながら交流する様子が多くみられました。

また、独自に色を重ねてグラデーションや模様を付ける参加者も見られ、ひとりひとりが想像力を膨らませて自分らしい勾玉を作成しました。

最後に、ひもを通してアクセサリーに仕立て、互いに力作を見せ合って喜んでいる様子でした。



「JAL紙ヒコーキ教室」(くすのき小学校)

JAL(日本航空)のキャビンアテンダント、エンジニアの方々を講師に招き、「紙ヒコーキ教室」を行いました。

折り方や投げ方にコツがあり、なるべく水平に投げることなどを教えてもらいました。

テスト飛行をしては、積極的にエンジニアの方に質問しに行き、飛ぶ原理や翼の調整方法を、とても分かりやすい言葉で説明してもらい、真剣に聴き入る姿が多く見受けられました。

そのおかげで、どの紙飛行機も驚くほど良く飛ぶようになりました。

最後に飛距離を競い、遠くに飛んだ参加者には、特別な資格を持つ講師が折れるという、金色の紙飛行機「ジュピター」や「鶴型紙飛行機」等が贈られました。



(南ヶ丘教育集会所)



公立幼稚園



2歳児プレ保育 始めました!!

令和6年9月より、公立幼稚園のさくら幼稚園と橋本幼稚園で新たにプレ保育を始めました。

対象者は、八幡市内在住の2歳児で、週2回(午前9:00~11:30)実施しています。

近年、少子化が進むと共に園児数が減少しているなかで、早い時期から集団生活に慣れることや少しでも幼稚園に通っていただく機会を作ることを目的に本事業を始めました。



現在、2園あわせて13名が利用しています。

2歳児を受け入れるにあたり、計画を立てたり、環境を整えたりして準備してきました。まずは、安心して園生活を送れるように、子どもたちの思いや願いを受け止めます。すると、小さな集団ですが、その中で自分の思いを出せるようになり、保育者や友達と園で過ごすことを楽しめるようになります。3歳児4歳児5歳児の姿を見て模倣し遊ぶようになることも大きなメリットです。また、お家の方と共に、挨拶や手洗い、着替え、身の回りの始末等、基本的な生活習慣や社会性が身につけられるように、進めていきたいと考えます。

このように、早期より集団生活に慣れていくことと共に、お家の方も園と一緒に子育てを楽しめる子育て支援も大きな目的の一つとして、進めていきたいと思えます。

各園におけるプレ保育の様子をご紹介します。

さくら幼稚園

9月からスタートしたプレ保育。大好きなおうちの人と離れて過ごす中、泣いて不安な気持ちを表現する姿も少なく、子どもたちは保育室や園庭で笑顔いっぱい過ごしています。初めの頃は、いろいろな玩具や遊具に興味津々で、自分のやりたい遊びを見つけ、夢中になって遊んでいましたが、最近は少しずつ友達存在にも気付きはじめた様子です。



今まで幼稚園の中で一番小さかった年少児は、自分たちより小さい友達との出会いにワクワク…ソワソワ…。廊下からプレ保育の部屋をのぞいて、ちょっと恥ずかしそうに「おはよう」と声を掛けたり、園庭の遊具で遊ぶ姿を見て「一緒にしよう」と、お兄さんお姉さん気分で関わり一緒に遊んだりする姿が見られます。

「幼稚園がない日もリュックを背負って、園に行く日を楽しみにしているみたいです」という保護者の方々の声も嬉しいかぎりです。これからも、たくさんの友達や先生と触れ合い、家庭ではできない体験を楽しんでいきたいと思います。

橋本幼稚園

登園後、持ち物の始末が終わると、お絵描きや電車ごっこ等好きなことをして遊んだ後、全員集まってお茶を飲みます。

園庭で、在園児が運動会に向けて、玉入れやリレーごっこをしていると、まねっこ遊びが始まります。先生が持っている籠に玉を入れたり、「よういどん」の合図で走ったり…2歳児にとっては刺激的で、目に入るもの全てやってみたいようです。

遊んだ後は片付けをし、保育室へ。トイレに行ったり、おむつを替えてもらったりして、「よわむしモンスタース」のお話が始まると、「よっしゃー」「ジャンプジャンプ」など、お話の世界に入り込み表現を楽しんでいます。お家の方も降園15分前には集まっていただき、一緒に絵本を見たり、触れ合い遊びをしたりしています。

このように、プレ保育では、先生や友達と同じ場、同じことを楽しめるようにしたり、お家の方も保育に少し参加したりしていただきながら、園と共に子育てを楽しめる環境づくりに努めていきたいと考えています。

(子育て支援課)



現在の教育委員会の構成

【令和6年11月1日現在】

教育長

委員（教育長職務代理者）

委員

委員

委員

かわなか	たかし
川中	尚
はしもと	はるお
橋本	陽生
さの	えりこ
佐野	恵理子
やとうじ	
八頭司	めぐみ
かのう	りえこ
狩野	理恵子



(こども未来課)